

平成27年度 関東地区グループ活動第2回、「エネルギー問題」の講演会を開催

講演会「21世紀のエネルギー問題」を開催

～ 関東地区グループ活動 ～



協豊会関東地区では平成27年度第2回目のグループ活動として、10月23日(金)にトヨタ自動車殿の東京本社・大会議室をお借りしての講演会を開催しました。

今回の講演会には、防衛大学校 電気情報学群 機能材料工学科の教授、守本 純様を講師にお招きして、「21世紀のエネルギー問題」をテーマにご講演をいただきました。

当日は協豊会事務局の大村次長様を来賓にお招きして、関東地区グループ活動参加登録メンバーの48社・49名が出席し、さらに東海・関西地区からのオブザーバー参加も加わり、総勢約60名での講演会となりました。



【講師の守本先生】



【聴講する参加メンバー】

守本先生のお話は、先ずエネルギーの基礎となる熱力学法則を大変分かりやすく説明され、“エントロピー”と“エクセルギー”について我々の身の回りの事例紹介から始まり、生産活動と経済活動におけるエネルギーの関わりへと論点を運び、さらに視野を広げて日本や地球の資源とエネルギーの収支状況からエネルギー問題についての課題を解説してくださいました。そして、21世紀のエネルギー問題を解決するためには、光電変換・熱電変換と、パワーエレクトロニクスが鍵となるという総括でご講演を締められました。

日頃はビジネスに関わるQCDに追われている受講参加者にとって、守本先生のお話は「文系でも理解できるレベル」まで噛み砕き、豊富な事例紹介も交えながら、エネルギーや材料素材について新たな視点から理解を深めることができ、大変有益な講演会となりました。

講演会の終了後、講師もご参加いただいたの懇親会が行われ、本日の講演内容にとどまらず、日頃は接する機会が無い防衛大学校の様子なども話題となり、大変賑やかなうちに散会となりました。

関東地区では今後も幅広いテーマの中から課題認識の共有化を図り、相互研鑽と双方向コミュニケーションに取り組んで活動をして参ります。